

2021年10月7日

## 「バーレーン 2021 アジアユースパラ競技大会」水泳競技 日本代表推薦選手選考方針に基づく基準について

一般社団法人日本パラ水泳連盟

標記大会への代表推薦選手の選考にあたっては、

- ・公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会（以下 JPC）通知 2021年3月10日付「バーレーン 2021 アジアユースパラ競技大会日本代表選手団編成方針及び選手選考基準」
- ・当連盟 2021年5月14日付け「バーレーン 2021 アジアユースパラ競技大会水泳競技派遣選手及び派遣役員等推薦方針」で方針を公表しています。

一方で、コロナウイルス感染症により、本当に開催されるのか、開催されたとしても感染症対策がどのように行われ、どのような規制があり、派遣される選手役員の生活にどのような影響があるのかなども含めて、懸念や検討事項が多々あり、方向性を模索していました。

このような中、今般 JPC より 2021年9月24日付で選手団派遣について「日本選手団を派遣することを前提に引き続きバーレーンとの連携をとり、準備を進める」との事務連絡がありました。

当連盟としては、以上のことを踏まえ、競泳選手団を派遣することを前提に進めることといたしました。ただ、諸条件から派遣の選考基準については、下記のようにいたしますので、ご理解下さい。

### 選考と基準

- 1, パリ 2024 パラリンピック等世界で活躍が期待される次世代選手を派遣するという観点より、戦略的な強化に取り組むためには、国際のクラスをより早く確定させることが大切であるため、国際クラス獲得を優先した選考をする。
- 2, 以下にある3大会と1記録会での記録を基に、世界パラ水泳連盟のポイント制を適用し国内クラス評価におけるクラス横断の順位を定め、上位者から選考する。
  - ① 3月実施－第37回日本パラ水泳選手権大会
  - ② 5月実施－2021 ジャパンパラ水泳競技大会

- ③ 6月実施－2021 神戸市民選手権大会
- ④ 8月実施－バーレーン 2021 アジアユース日本代表選手選考チャレンジ記録会

### 3, その他

- (1) 今回、選考されなかった選手については、コロナ感染状況を見据えながら、来年以降の海外遠征、例えば、ワールドシリーズ等で経験を積む機会を設けて、積極的にユース世代を派遣する  
ただし、この派遣においても優先順位が必要となるため、上記2の順位や今後の大会の記録などを参考に選出する
- (2) この基準等に定めのない事項については、選考委員会で審議し決定する。

以 上